

山寺天井窯 第11回作品展



2023年11月2日～5日
草津市立クリアホール

草津市立草津クレアホール







山寺天井窯 第11回 作品展 出展者名簿

老原 恒男	宮下 康子	栗田 昇	家島 健二	小森 茂治
鯛中 昌夫	山本 文子	梶本 宰輔	亀山 洋子	中西 徹
上田 操	岸 紀雄	伊藤 都子	片倉 茂己	田中 悦子
山中 邦枝	宮本 稔	清水 純子	徳橋 みな代	塚本 光代
土井 雅文	植田 豊一	山屋 多津男	山本 ひふみ	豊田 健次
小林 武男	山本 恵司	小野 猛彦	大西 雄治	小野 夕二子
松村 喬	藤本 義隆	加地 景子	石黒 丈雄	豊田 善久
内藤 春生	小泉 智子	大崎 三蔵	内藤 大次郎	杉原 公嗣
了戒 信善	浅野 秀二	大西 隆夫	鈴木 明	杉原 真知子
玉山 国雄	辻井 信夫	森澤 淳二	橋本 幸子	山崎 由弘
本多 浩	長谷川 孝徳	三上 善弘	島田 隆司	渡辺 秀雄
田中 仁一郎	藤井 建	田辺 賛司	芦田 宏	

老原 恒男





花入れ 鉢が家の
庭に咲く
四季折折の
草花を
部屋の中
から眺め
います
その折
彼らは
お番待ち



上田 操



仏陀摩訶般若波羅蜜多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時
 照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子
 色不異空空不異色色即是空空即
 是色受想行識亦復如是舍利子是
 諸法空相不生不滅不垢不淨不增
 不減是故空中無色無受想行識無
 眼耳鼻舌身意無色無聲香味觸法無
 眼界乃至無意識界無無明亦無無
 明盡乃至無老死亦無老死盡苦
 集滅道無智亦無得無所得故菩提
 薩埵依般若波羅蜜多故心無罣
 礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛
 倒夢想究竟涅槃三世諸佛依般若
 波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩
 提故知般若波羅蜜多是大神呪是
 大明呪是無上呪是無等等呪能除
 一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
 多呪即說呪曰
 羯諦羯諦波羅羯諦 波羅僧羯諦
 菩提薩埵訶般若心經
 讀經(金春記念) 上田 操

仏陀摩訶般若波羅蜜多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時
 照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子
 色不異空空不異色色即是空空即
 是色受想行識亦復如是舍利子是
 諸法空相不生不滅不垢不淨不增
 不減是故空中無色無受想行識無
 眼耳鼻舌身意無色無聲香味觸法無
 眼界乃至無意識界無無明亦無無
 明盡乃至無老死亦無老死盡苦
 集滅道無智亦無得無所得故菩提
 薩埵依般若波羅蜜多故心無罣
 礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛
 倒夢想究竟涅槃三世諸佛依般若
 波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩
 提故知般若波羅蜜多是大神呪是
 大明呪是無上呪是無等等呪能除
 一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
 多呪即說呪曰
 羯諦羯諦波羅羯諦 波羅僧羯諦
 菩提薩埵訶般若心經
 讀經(金春記念) 上田 操

「日々を陶に遊ぶ終活」
 昨年秋、開明一年の妻に先立たれ、更に出寺では四人の同好の仲間の訃報に接し、六月に傘寿を迎えた小生も、晩年者の終活への対応は、周囲の関係者への「マナー」との思いを深めました。おおよそ二百セント(四百圓)の傘寿内祝い用のカップの作陶に一年間以上を費やし、改めて作品展への出品作が何も無いことに気づきました。作品展向けに急遽七月より陶芸に対応可能な終活を始めました。陶板「般若心經」の写経(写経の写経)の目入(模写)です。(六地蔵菩薩像は二作の出品です。百セントのカップは昨年度の「おのこ」の作品です。)

亡妻を偲びつつ、妻への孝行不足を詫言ながらの別字等々は、私には新たな挑戦で執行錯誤の連続でした。それに付き合ってくれた内藤先生に感謝です。種々のトラブルを乗り越え、展示可能な作品の完成はほぼ四カ月を要しましたが、幸いにも作品展に間に合いました。出来の良否は別にして合掌です。ケースを作成頂いた長谷孝徳さんにも感謝です。



山中 邦枝

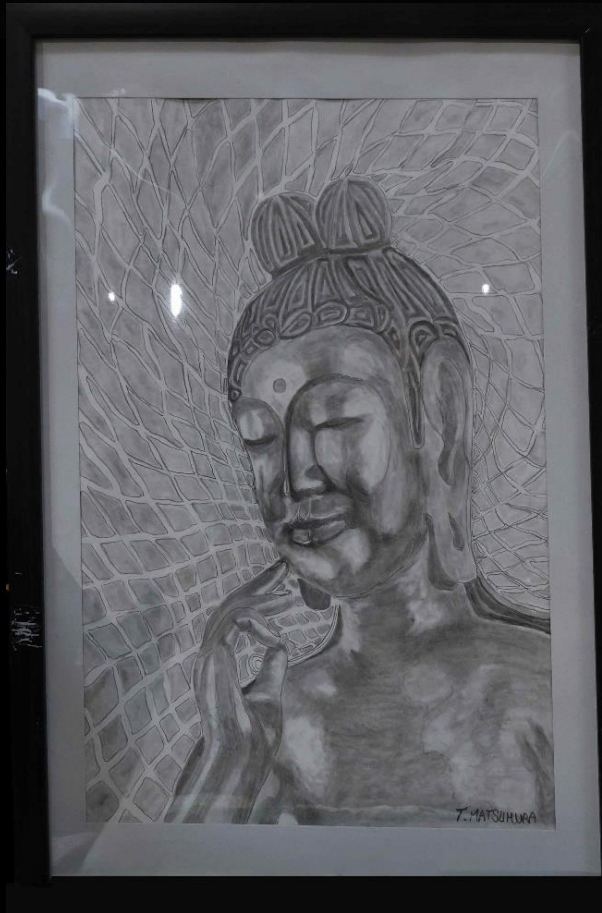


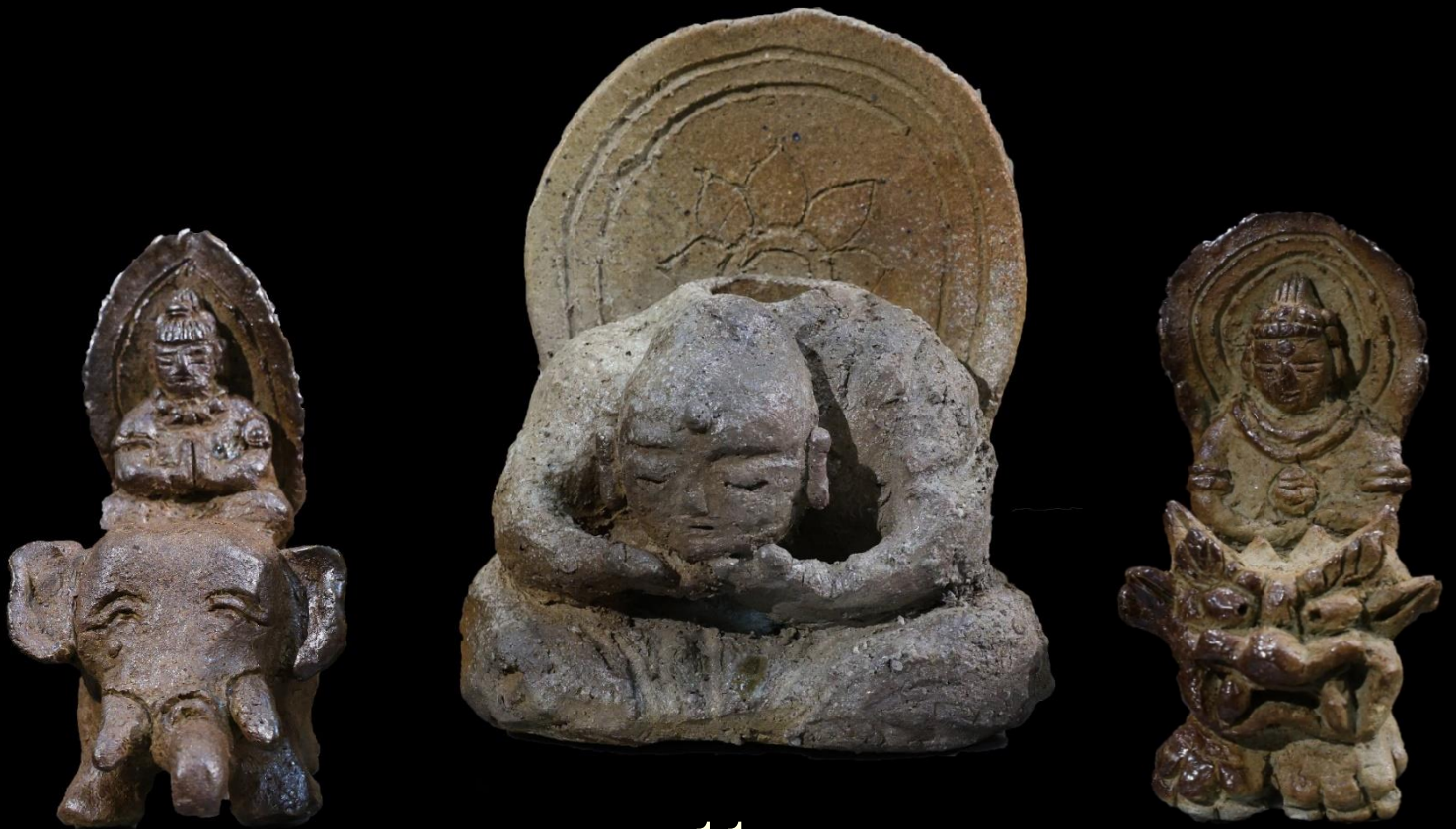
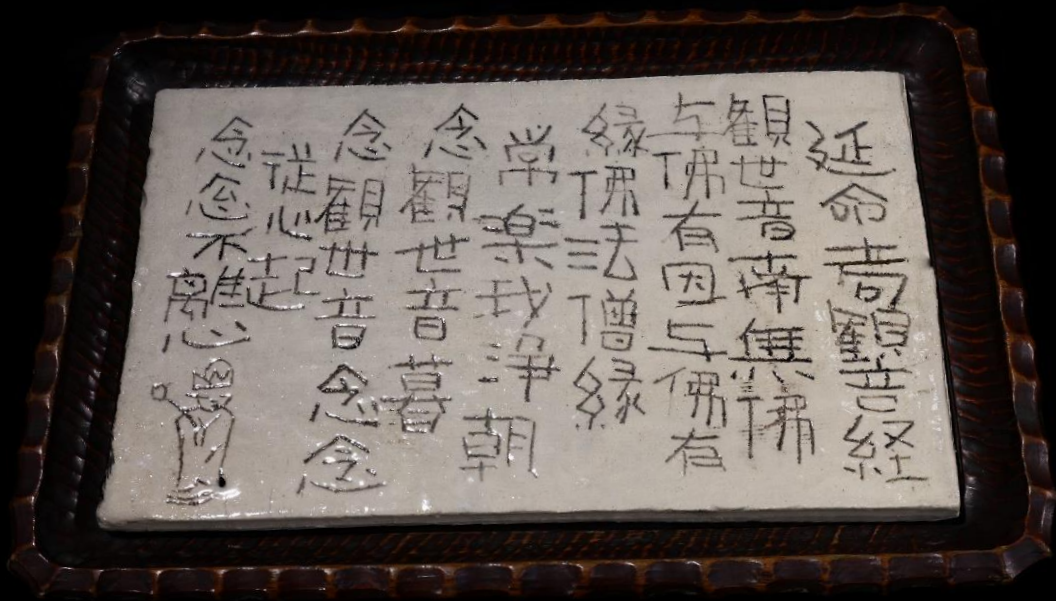
土井 雅文





松村 喬





了戒信善



玉山 国雄



本多 浩

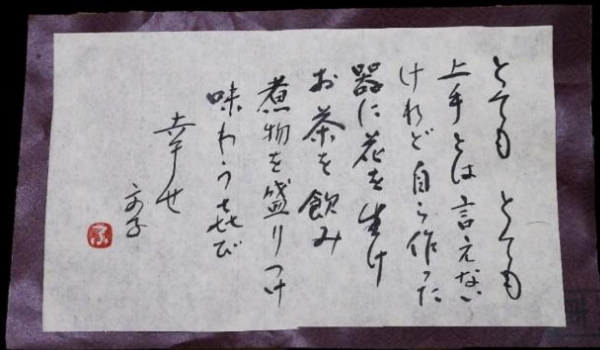




宮下 康子



山本文子



岸 紀雄



宮本 稔



現存天守12城
5城を展示

1. 弘前城
2. 犬山城: 国宝
3. 彦根城: 国宝
佐和山城跡より
4. 備中松山城
5. 松江城: 国宝

現存天守12城







藤本 義隆





浅野 秀二





長谷川 孝徳



引出小壺掛花瓶

高浮彫山水画花瓶

壺・水車小屋



浮御堂



引出変形掛花瓶



浮御堂
水車小屋
山形鉢



藤井 建





各国のタイル文様の違い

	日本	イギリス	スペイン
1	 大正時代 (20世紀) 桜花文タイル2種・英国ヴィクトリアン様式写し	 19世紀末～20世紀初 乾式単色象嵌タイル	 17世紀 白地多彩草花文タイル
2	 江戸時代末期 (18～19世紀) 伊万里色絵花文六角腰瓦	 19世紀末～20世紀初 乾式単色象嵌タイル	 18世紀 白地多彩草花文タイル・マジックタイル



梶本 宰輔





清水 純子



山屋 多津男



小野 猛彦



加地 景子



大崎 三巖



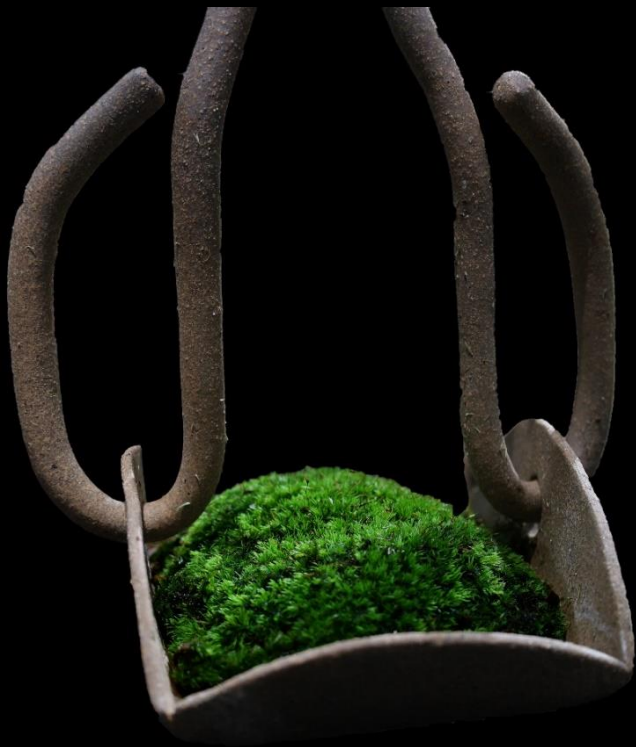
土と炎の作り出す美に魅了され
土との出会い いじり続けて16年 彩るやきもの
いろいろ見て楽しんで頂ければ幸いです。





森澤 淳二





田辺 賛司





龜山 洋子



片倉 茂己



片倉茂己さんの遺作

片倉茂己さんから申し訳なきさうに、「十月二十一日の灯油窯焼成の申請を頼めないだろうか」と言われたのは、亡くなる一週間ほど前でした。後で知ったことですが、二十日、二十一日と、出身地広島のご郷での同窓会（中学校？）への参加を、「最後になるだろうか」と楽しみにされていたようです。

十月六日、山寺天井窯の作陶室で急逝されたのですが、頼まれていたことを思い出した小生は、申請すべき作品を探しました。見つけた作品は素焼の終わった未完成品でした。釉薬を掛け焼成を終われば完成です。山寺に集うレイカディア大学の同期生（三三期）五人に「誰か釉薬をかけて」と依頼しましたが、「片倉茂己さんの感性を壊したくない」と、誰も手を挙げてくれませんでした。結論としては、未完成品の展示は異例ではありますが、出品への彼の意思を尊重し、素焼での出品（四点）とさせて頂きました。事情をご理解頂き御覧頂ければ幸いです。



徳橋 みな代





大西 雄治



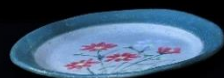


内藤 大次郎





橋本 幸子









中西 徹



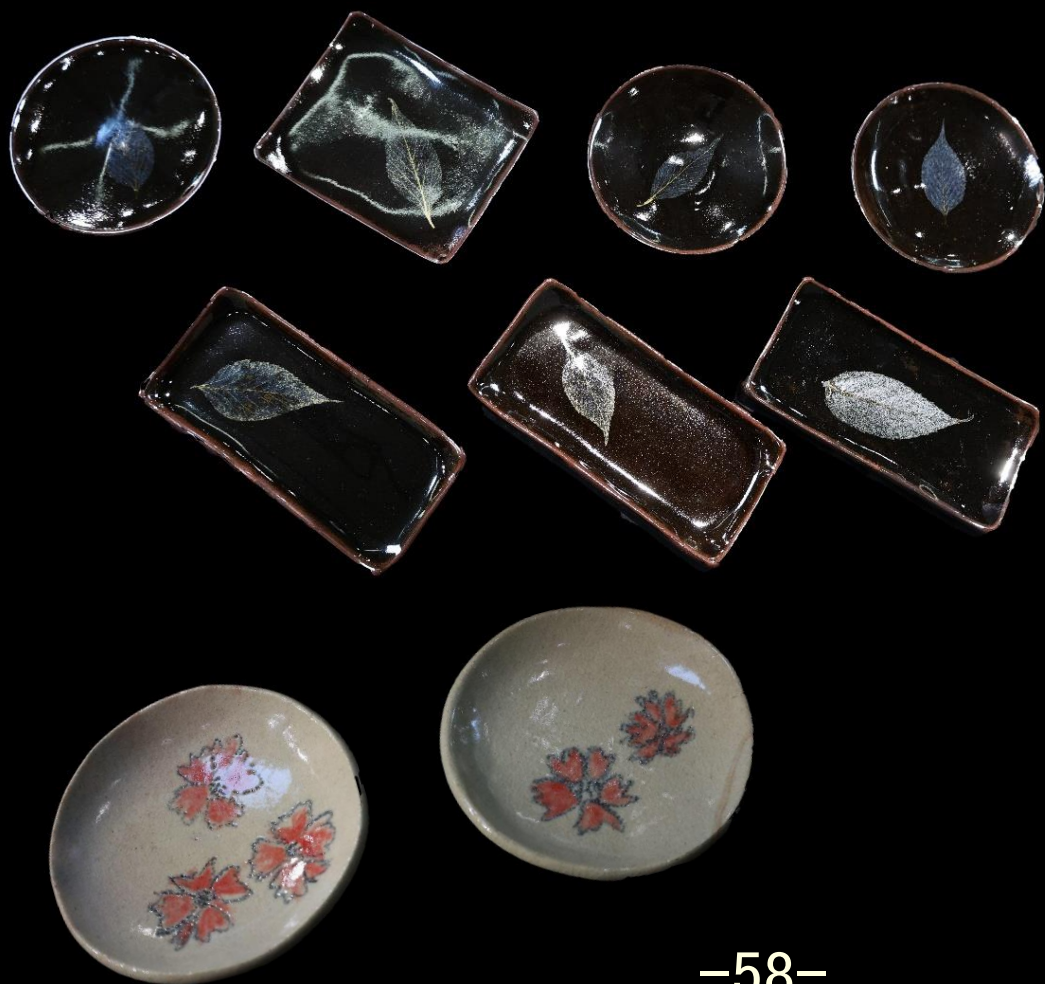


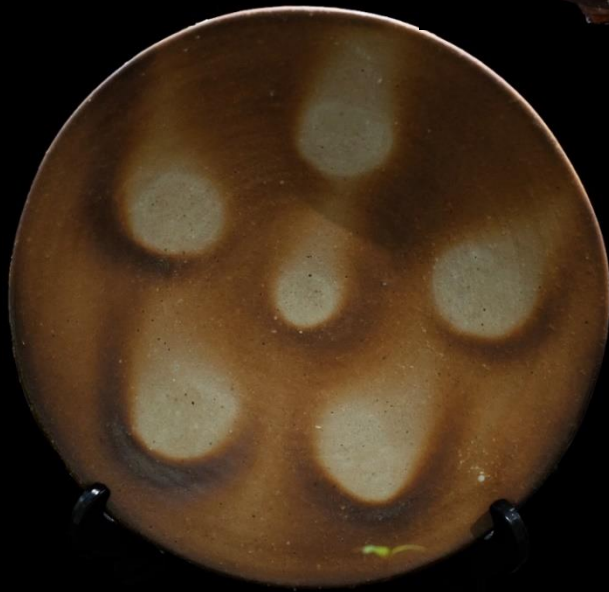
塚本 光代





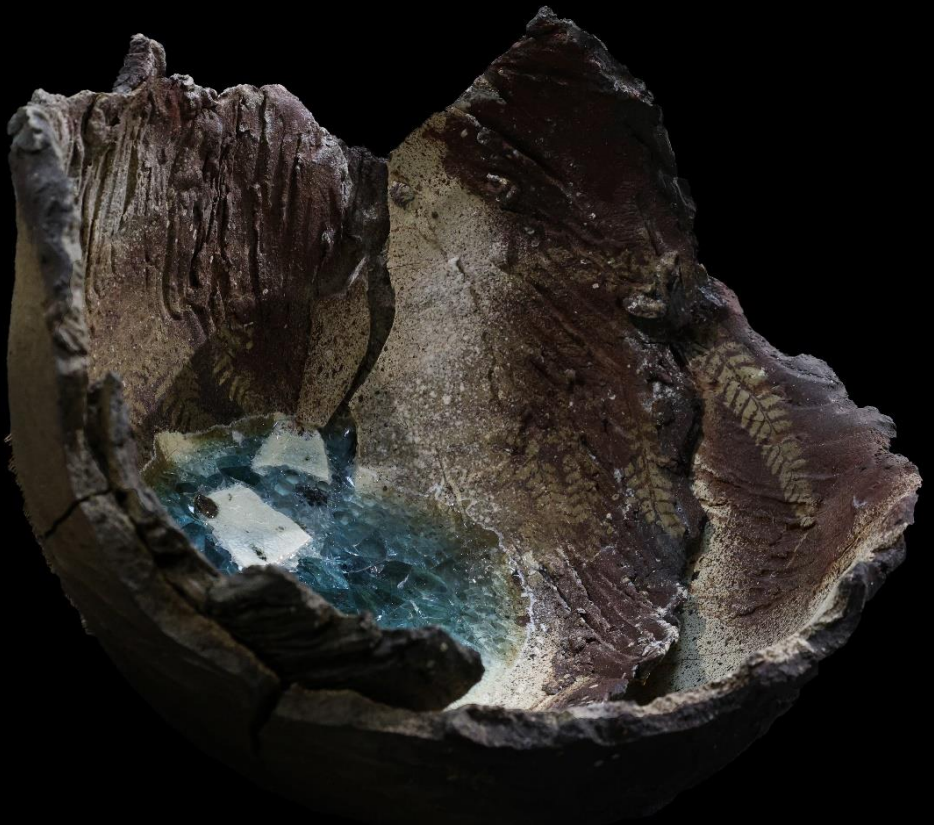
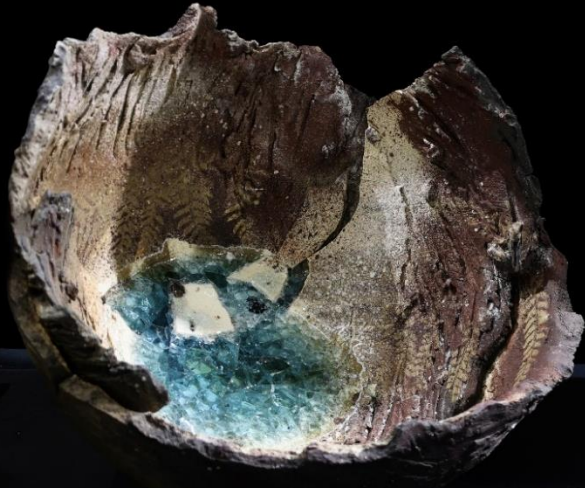
小野クニ子





杉原 公嗣











山寺天井窠看板

作品展展示レイアウト

土井	玉山
山中	了戒
上田	内藤春
鯛中	松村
老原	小林
長谷川 <small>盆栽</small>	

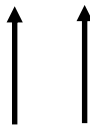
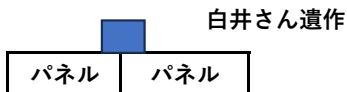
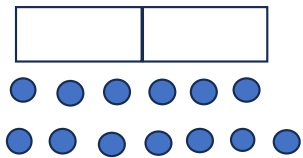
宮本	辻井
岸	浅野
山本文	小泉
宮下	藤本
田中仁	山本恵
本多	植田

清水伊藤	大西隆
梶本	大崎
栗田	加地
藤井	小野猛
長谷川	山屋

盆栽

片倉	橋本
亀山	鈴木
家島	内藤大
田辺	石黒
三上	大西雄
森澤	山本 <small>ひ</small>
	徳橋

塚本	渡辺
田中悦	杉原 <small>公</small>
	杉原 <small>真</small>
中西	山崎
小森	豊田善
芦田	小野ク
島田	豊田健



白井万蔵様 追悼



私たちは、陶芸をこよなく愛好する仲間と交流しながら、創作と研鑽に励んでいます。

創作することの楽しさ

独創的な造形や技法への挑戦と、実現できたときの達成感

作品の出来栄を批評しあい、切磋琢磨できる喜び

仲間との愉快的な会話やよろず相談

それだけではありません、皆で協力しながらの

窯を炊く薪集めや薪割り

昼夜を徹した5日間の窯焚き

窯から作品を取り出したときの歓喜や失望

これらが陶芸の醍醐味であり生き甲斐にもなっているのです。

白井万蔵様におかれましては、私財を投じ天井窯を開設して下さいました。

これはとりもおさず、私たちシニアに対しての、人生の醍醐味や生き甲斐のスポンサーになって戴いたわけで、有難く心からの感謝を申し上げます。

天井窯開設から22年、県展や市展など公募展の入選者が多数輩出しているほか、幾つかの陶芸教室の講師など、多方面で活躍する会員もおり、陶芸文化の振興に寄与していることは、誇れることです。

白井様が亡くなられた今、大きな喪失感を禁じえません。これからも研鑽に励むとともに、白井様のご恩を忘れることなく、白井様のような世に恥じない生き方をしてまいる所存です。

山寺天井窯陶芸同好会会員一同



白井万蔵様

山寺天井窯オーナー

令和5年5月23日逝去 享年93歳

会場風景











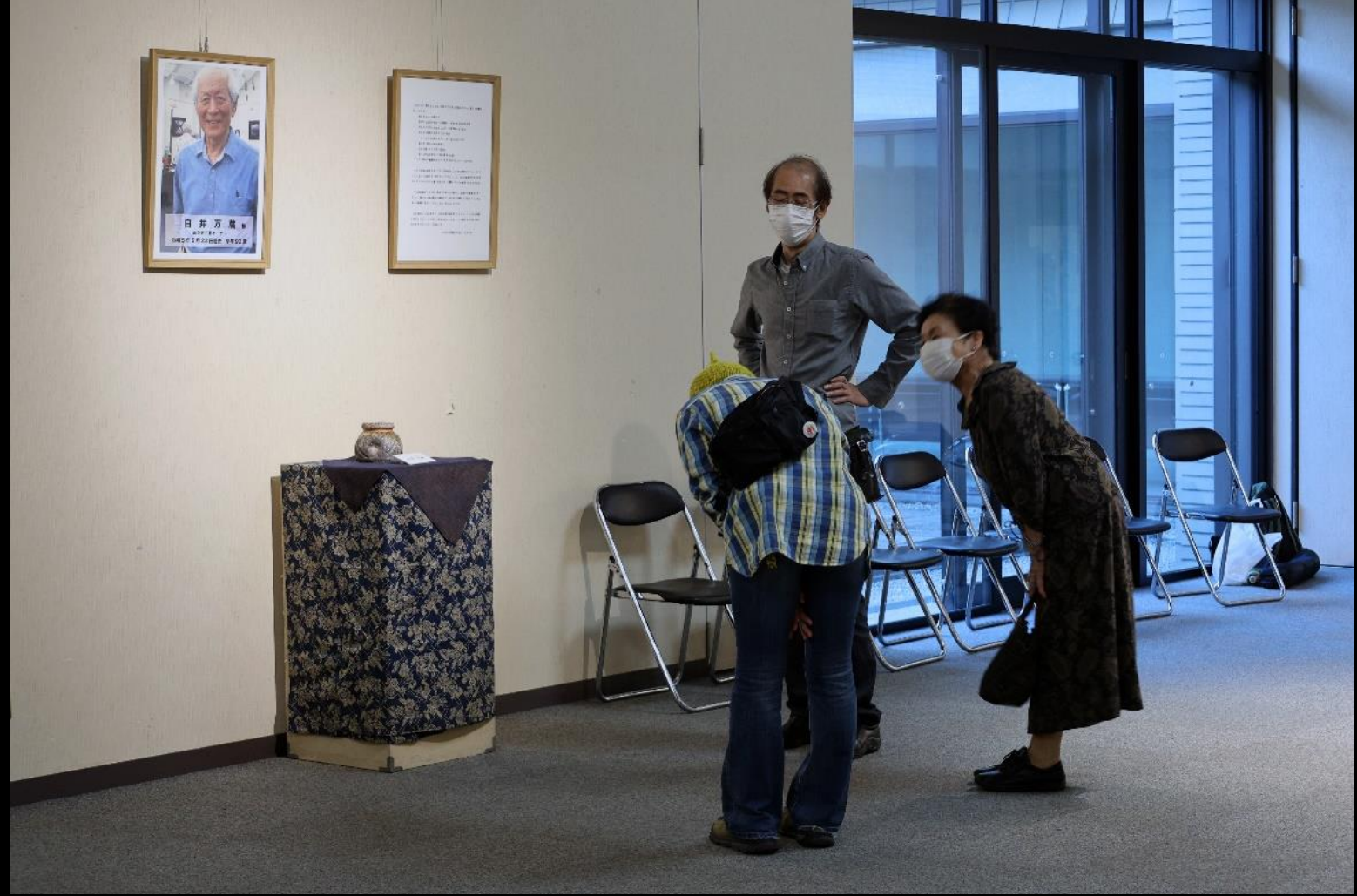










































NHKテレビ取材





草津市長ご来場





お土産コーナー好評

今年も会員から沢山の作品を提供され、お土産コーナーは大好評でした。子どもさんと一緒に可愛いアクセサリや箸置きを選ばれる方、大きめの花器をほこほこしたお顔でお持ち帰りされる方、ご主人へのお土産にお猪口を選ばれてとニッコリされる方たち、お喋りも楽しく、皆さん笑顔で会場を後にされました。

作品の分別、運搬、包装など、大変な部分もありましたが、天井窯会員と観覧者さまとのコミュニケーションの場として素敵な催しだと思いました。

ご協力ありがとうございました。



お持ち帰りコーナー

お好きな物があれば差し上げます。1点まででお願いします。受付で包装いたします。









結（ゆい）の里 山寺天井窯



創設から変わらぬ風景





木の葉天目プロジェクトチームにギャラリーも混じって検証中





窯の風景



窯の上で焼き芋もお楽しみのひとつ







男性陣の皆さん薪作業をいつもありがとうございます



<https://vimeo.com/896787934>



<https://vimeo.com/896789114>



謝辞

「山寺天井窯陶芸同好会」は、60名のうち85%の51名が70才以上の男女です。今回も各会員が個性的な陶芸作品を展示しました。

草津市長の来場に加え、NHKからの取材もありました。観覧者は580名でした。

持病と寿命とに折り合いを付けて2年後の作品展にも参加出来ればと思っています。

作品展を見に来て下さった方々、本当にありがとうございました。

総務総括 家島 健二

作品展実行委員会メンバー

片倉 茂己、山崎 由弘、小野クニ子、家島 健二、
田中 悦子、藤井 建、浅野 秀二、小泉 智子



動画1

<https://vimeo.com/895271230>



動画2

<https://vimeo.com/895422167>



動画3

<https://vimeo.com/895423586>



動画4

<https://vimeo.com/895268882>



360° 集合写真

各QRコードをスマホやタブレットで撮影すれば、穴窯に薪をくべる様子や作業の様子、展示会での風景を動画で見ることができます。

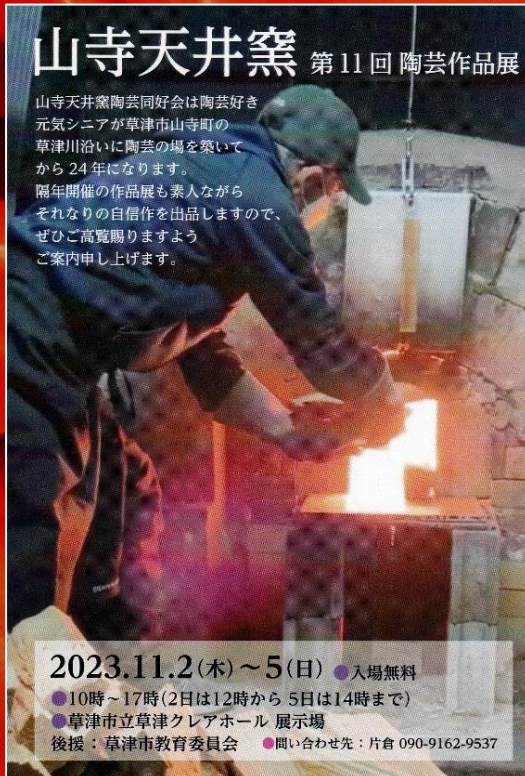
山寺天井窯 第11回作品展 アルバム

2024年1月10日 発行

制作 教野 弘孝

山寺天井窯 第11回 陶芸作品展

山寺天井窯陶芸同好会は陶芸好き
元気シニアが草津市山寺町の
草津川沿いに陶芸の場を築いて
から24年になります。
隔年開催の作品展も素人ながら
それなりの自信作を出品しますので、
ぜひご高覧賜りますよう
ご案内申し上げます。



2023.11.2(木)～5(日) ●入場無料

●10時～17時(2日は12時から 5日は14時まで)

●草津市立草津クレアホール 展示場

後援：草津市教育委員会 ●問い合わせ先：片倉 090-9162-9537

陶芸同好会 山寺天井窯

〒520-0042

滋賀県草津市山寺町八反田957

☎077-567-0114